

もしかして
ゲーム依存症？

子どものゲーム依存 チェックリスト

以下の項目にあてはまるものがないか、まずはチェックをしてみましょう

⚠ 複数該当し、1か月以上この状態が続く場合は注意が必要です

生活習慣の乱れ

- 朝、なかなか起きられない
- 日中に強い眠気があるようだ
- 学校に遅刻したり、休みがちになったりしている

感情面 / 行動面での変化

- ゲームをやめるように注意をすると、イライラして感情が抑えられない
- ゲームをやめるよう繰り返し言っても、なかなかやめられない

興味・関心の偏り

- 普段からゲームのことばかり考えているように見える
- ゲーム以外のことにあまり興味を示さなくなった

人間関係の変化

- ゲームが原因で、家族や友人との関係が悪くなっている
- ゲーム以外のことにあまり興味を示さなくなった

ゲームの利用に関する問題行動

- ゲームの使用時間や内容について、うそをつくことがある
- 隠れて課金をすることがある



入院治療プログラム

入院の目的：

ゲームとの付き合い方がうまくいかず、依存する子ども達が増えています。依存によって、生活がうまくいなくなるなど、影響を受けている子どもが、集団生活や入院プログラムを通じて生活リズムを改善させ、適切にゲームができるようになることを目指します。

入院の対象者：

主な対象は、小学校高学年から 18 歳未満です。原則、自分の考えで入院を希望し、決断できる必要があります。担当医師が診察し、プログラム参加が可能か判断します。このプログラムは入院のみで行いますので、通院治療での参加は出来ません。

入院の期間：

年に 3 回（7 月下旬～8 月、11 月～12 月上旬、2 月下旬～3 月）
原則 2～3 ヶ月間の予定となります。プログラムは 1 クール約 6 週間ですが、状況に応じて医師の判断で 3 ヶ月まで延長することができます。

場所：

総合心療センターひなが A4 病棟

治療内容：

- ・ 生活リズムの改善
- ・ 同年代での集団生活の経験
- ・ ゲーム依存プログラム（CAP-G）への参加
- ・ 病棟の集団プログラムへの参加
- ・ 背景にある発達障害や精神疾患の評価と治療
- ・ ご家族向けプログラム（i Swing 等を用いて）の実施

プログラム：

■ ご本人向けプログラム「CAP-G」 Comprehensive Treatment Program for Gaming Disorder

内容： ゲーム障害を対象とした包括的認知行動療法プログラム（久里浜医療センターで開発）をマニュアルに従い実施します。

回数： 合計8回 1回約60分

参加者： 1名～5名

担当スタッフ： 公認心理師、看護師、児童精神科医師、精神保健福祉士、作業療法士など

■ ご家族向けプログラム「i Swing」

内容： インターネットやゲームの依存について、家族の困りごとや対応について話し合い、子どもたちへの関わり方を学びます。

回数： 合計3回程度 1回約60分

担当スタッフ： 公認心理師、看護師

費用：

各種健康保険が適用されます。また、各自治体の子ども医療費助成制度も適応になりますので、詳しくは病院スタッフにご相談下さい。

お問い合わせ：

総合心療センターひなが 地域連携室 059-340-3900（受付時間：月～金 9:00～16:30）



詳しくはこちらをご覧ください



総合心療センターひなが 電話：059-345-2356（代表）

住所：〒510-8575 三重県四日市市日永 5039